

山陽小野田市健康づくり推進協議会議事録

| | | | |
|--------------|--------------------------|--------------------|--|
| 会議の種類 | 令和6年度第2回山陽小野田市健康づくり推進協議会 | | |
| 日時 | 令和6年10月8日(火) 18:30~19:45 | | |
| 場所 | 市役所3階大会議室 | | |
| 出席者 (17人) | 山口県精神保健福祉士協会 | 植木 亨 (委員) | |
| | 山陽小野田市立山口東京理科大学 | 恵谷 誠司 (委員) | |
| | 山陽小野田市健康増進計画推進委員会 | 小柳 朋治 (委員) | |
| | 山陽小野田市母子保健推進協議会 | 高木 理代 (副会長) | |
| | 山陽小野田歯科医師会 | 田中 裕基 (委員) | |
| | 山陽小野田市自治会連合会 | 千々松 正俊 (委員) | |
| | 一般 公 募 | 土井 さつき (委員) | |
| | 山口大学大学院医学系研究科 | 長谷 亮佑 (委員) | |
| | 山陽小野田市食生活改善推進協議会 | 半矢 幸子 (委員) | |
| | 山陽小野田医師会 | 廣田 勝弘 (会長) | |
| | 一般 公 募 | 榊本 晴美 (委員) | |
| | 山陽小野田薬剤師会 | 松垣 裕明 (委員) | |
| | 山口県栄養士会 | 三井 洋子 (委員) | |
| | 山口県理学療法士会 | 三戸 洋 (委員) | |
| | 山陽小野田市立小学校校長会 | 森 重 健 (委員) | |
| | 山陽小野田市社会福祉協議会 | 森 重 陽子 (委員) | |
| | 山口県看護協会小野田支部 | 山本 浩子 (委員) | |
| 欠席者 (3名) | 山陽小野田市連合女性会 | 井上 幸子 (委員) | |
| | 山陽小野田市民生児童委員協議会 | 煤崎 八由美 (委員) | |
| | ヤクルト山陽山口支社 | 福濱 栄士郎 (委員) | |
| オブザーバー | 山口県宇部健康福祉センター | 野村 洋子 | |
| 事務局 | 福祉部長 吉岡 忠司 | 福祉部次長兼高齢福祉課長 尾山 貴子 | |
| | 福祉部次長兼子育て支援課長 石田 恵子 | 健康増進課長 山本 玄 | |
| | 技 監 大海 弘美 | 主査兼健康管理係長 野原 崇史 | |
| | 健康増進係長 山本真由実 | 健康増進係長(食育) 加藤 諭香江 | |
| | 健康増進係長(成人) 伊藤比呂子 | | |

| | |
|---------------|--|
| | <p>1 福祉部長挨拶 2 議事 (1) 令和5年度保健事業実績報告について (事務局から説明)</p> |
| <p>会 委 員</p> | <p>質問・御意見等ないか 予防接種実施状況の推移の表以外の予防接種で、テレビでよくCMをしている帯状疱疹ワクチンに対する対策は考えているか。問合せをしたら宇部市や山口市では助成をしていると聞いたがどのようになっているのか知りたい。</p> |
| <p>事 務 局</p> | <p>現在本市においては、あくまでも定期接種の範囲の中で実施しているが、ご質問にあった帯状疱疹については、これが定期接種になれば当然取り組むが、今現在では取り組む考えはない。</p> |
| <p>会 長</p> | <p>実際にこの数年、患者さんからだいぶ帯状疱疹のワクチンの希望がかなり増えているのが現状なので、今後定期接種に切り替わって助成が出てくるといい。その他はいかがか。</p> |
| | <p>(2) 第2次健康増進計画中間評価について 第2次健康増進計画（生活習慣の改善に向けた取組） (事務局から説明) まず1点目は資料2の評価で、案1と案2どちらが見やすいか、2点目は特にたばこ・アルコール、健診の項目で改善のための取組がないか、3点目はそれ以外の項目の取組がないか、この3点のご意見を聞きたい。まず1点目で、案1がいいという方は挙手をしてほしい。 (挙手なし) 案2がよいという方はいるか。 (数名挙手) どちらも変わらないという方はいるか。 (多数挙手)</p> |
| <p>委 員</p> | <p>評価としては同じなので、あとは見やすさという部分なのかと思う。今挙手された委員の意見はどうか。</p> |
| <p>会 長</p> | <p>C、Dよりは、Cのプラスかマイナスのほうが上向きなのかそうでないのか、方向性が少し見えてくるのではないか。ビジュアル的にも見やすいと思う。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>この辺りは大きな問題ではないと思うので、挙手があったように、第2案でご検討いただきたい。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>増加傾向や改善傾向を見るためにはCプラス、マイナスのほうが改善している意図が見える。市の評価方法のことではないが、山口県や下関市の評価困難や判定不能とはどういう位置づけになるのか。</p> |
| <p>オブザーバー</p> | <p>即答ができない状況である。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>改善傾向を示すならCプラス、マイナスのほうがよいと思う。</p> |
| <p>事 務 局</p> | <p>山口県や下関市の判定不能とか評価困難は、その数値がもう取れない項目などをこういう風に表記していると記憶している。</p> |

| | |
|--------------------|---|
| <p>会 長</p> | <p>次回の会議の時に回答いただければと思う。 タバコ、アルコール、健康診断に関して、受診率向上など改善のための策として、すでに取り組んでいると思うが、皆さんの中でこういう取り組みもどうかというご意見等はないか。乳がん検診に関しては前回の会議の際にも説明してもらったが、若干受診率が増加しCプラスになった。以前検診を受けた人に案内をされたような、ちょっとした取り組みでプラスになったと思う。</p> |
| <p>委 務 事 局</p> | <p>たばこは普通のたばこと機械式のたばこも含めての評価項目でよいか。この評価をするにあたって、加熱式タバコも含むとしてアンケート調査を行った。その中身が紙タバコか電子タバコかということまではわからない。</p> |
| <p>会 長</p> | <p>小中高の学生や大学生への取り組みが、1つ大事な点なのではと思うが、現在、学校関係で何らかの取り組みはされているか。タバコやアルコールは、最初に若者がどう接触するのか、そこをどう抑えるかが大きな課題と思う。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>そこまでの取組はやってないが、保健の教科書にも出てくるので、そこで取り上げるぐらいである。学校にもよるが学校関係者もほとんど喫煙しない。校地内禁煙にもなっていて、あまり子供がたばこに触れる機会はないと感じている。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>まずタバコに関して、薬局薬剤師には禁煙に対しての教育ができる資格をもった薬剤師もいるので、そういう薬剤師が、先頭に立って禁煙に対してのアプローチをしていく。また学校に関しても、学校薬剤師が各学校にアプローチかけて禁煙への教育を行っているという話を聞いている。アルコールに関しては、積極的な薬剤師からのアプローチはなかなか難しいが、薬局の中にアルコールに関する危険度を示すようなパンフレット等を置いて啓発することはできる。アルコール問題は、うつなどの精神疾患にも繋がる可能性があるため、うちの薬局では人目につかないトイレにうつに関しての電話相談窓口のチラシを置いている。そのようなアプローチもできるかなと考えている。</p> |
| <p>会 長</p> | <p>学校薬剤師の活動がどこでも一斉に取り組まれると、アプローチの幅が広がると思う。アルコールに関して、アルコールはタバコと違って規制が緩い。タバコはだいたい購入しにくくなってきているが、アルコールはどここのコンビニでもすぐ手に入る。アルコールが健康を害するという感覚が少なくなっているように思う。患者と話していても、健康にどのくらいの影響があるかという知識を持っていない方が多い。それをどのように皆さんに知っていただくかが1つの課題である。 健康診断の情報提供はいろんなメディアを使ってやってきたところではあるが、なかなか受診しようという気になっていない。地域によって受診行動の認識が違っていたりする。何かしらのキャンペーンなど何かできないかと思う。医師会としても地域住民に対して声かけをしていくことも大事なことだと思う。 今日は結論を出す必要はなく、次回の3回目である程度まとめた計画案</p> |

| | |
|---------------|--|
| <p>委員</p> | <p>を示すという流れになるので、もし今日この場でご意見が出しにくいのであれば、後日でも事務局の方にご意見していただきたい。</p> <p>アルコールでいうと、やはり適量を知らない方がかなりおられる。これぐらい飲んで大丈夫だろうという、本人感覚で飲まれてる方が結構おられるので、適量を知っていただくことは大事だと思う。ポピュレーションアプローチで全市民に知ってもらうことも大事だが、それだと届かない可能性があるのも、買う店や飲む場に「適量はこれだけです」という情報があれば、お酒を飲む人は必ず目にする。ただそれはお店にとっては営業妨害であるし、買う側にしても気持ちのいいものではない。現実的に可能かどうかわからないが、例えば「一生お酒を楽しむために」などの文言を入れながら、適量を示すことはできる。それが実現できるかはわからないがそのようことを考えている。</p> <p>(3) その他 特になし</p> |
| <p>オブザーバー</p> | <p>最後にオブザーバーから本日の協議に対して御助言いただければと思う。</p> <p>保健事業実績報告を聞き、イベントだけではなく、日頃から地域の取り組みや団体と連携しながら、実践をされていることを伺うことができた。今回の中間評価を聞き、前回も参加して思ったが、今までは説明を聞き実際に課題や状況を見ることで、今まで自分事として考えられなかったことが、しっかり自分事として捉えるきっかけにもなる。今後、健康づくりをどうするかという意欲につながると感じたので、まずは皆さんに広く知っていただくという取り組みをしないといけないと改めて感じた。健康福祉センターでも、検診受診率に向けて、職域から取り組んでいるところではあるが、今の山口県の検診受診率の状況をしっかり皆さんに伝えなければいけないと思うので、機会あるごとに皆さんと一緒に健康づくりに取り組んでいきたいと思う。</p> <p>3 その他 (山口東京理科大学より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと知ってほしい膀胱がんのこと <p>(事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマイルエイジング強化月間について ・SOS 健康フェスタについて ・新型コロナウイルスワクチンについて <p>質問等は特になし</p> <p>第3回目の協議会の旨を説明し、閉会した。</p> |